

8月の大雨に係る被害状況等について

昨日行われた「災害支援プラットフォーム第2回緊急対策会議」の内容を踏まえ、本日14:00時点で把握した現地情報ならびに関係団体の対応についてご報告します。

○現地の状況

情報共有会議の開催を受け、JVOADでは情報共有会議を主催している「佐賀災害支援プラットフォーム(SPF)」のサポートを行ってまいります。本日、JVOADスタッフ1名はSPFとともに現地状況のまとめ、もう1名はSPFのメンバーと一緒に佐賀県内の状況確認を行っています。

- ・佐賀県での情報共有会議に50名程度が参加、被害状況、活動状況の共有を実施
- ・技術系支援団体による床下作業のニーズ調査、活動が始まっており、床下の消毒、乾燥に関する講習会の実施を検討
- ・ペット支援、外国人支援の団体も活動開始
- ・大町町でのボタ山崩落、油流出により避難が長引く可能性がある
- ・カーシェアリング協会が、9月10日から1か月程度、武雄市にて車が被災した住民、支援団体に向けて車の貸し出しを実施予定



【JVOAD：SPF 第2回緊急対策会議】

○災害ボランティアセンター

福岡県、佐賀県では、災害ボランティアセンターが開設され、ボランティア活動が始まっています。

開設状況については、全国社会福祉協議会 被災地支援・ボランティア情報を確認ください。

URL：<https://www.saigaivc.com/>

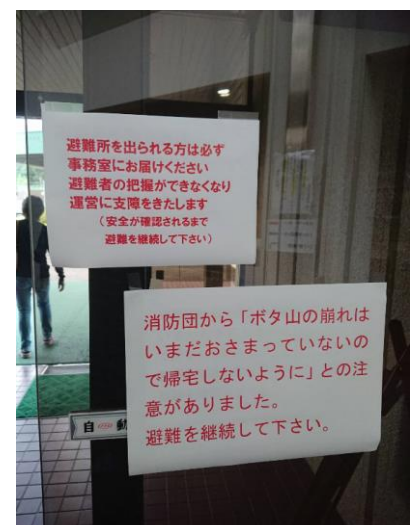
- ・油流出のあった佐賀県大町町では、本日よりボランティアによる油対応の活動も開始
- 安全面等に関する準備については、要確認

○その他

- ・本日、9月1日(日)19:00～ SPF主催の「佐賀災害支援プラットフォーム第3回緊急対策会議(仮)」が開催
- 場所：佐賀市民活動プラザ大会議室

○今後について

引き続き、県、社会福祉協議会、SPFと連携して、「佐賀災害支援プラットフォーム緊急対策会議」をサポートしていきます。



【提供 災害NGO 結：大町町】